

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	はま ひろかず		
氏名	濱 博一		
所属	株式会社 アスリック		
役職	代表取締役		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	メールアドレス	hama@neting.or.jp	
キャッチコピー	持続的・地域経営・地域再生活動を、ビジョン策定から地域資源発掘・合意形成・事業開発まで全工程で支援		
自己PR	誰も訪れるもの無かった埠頭に、年間約90万人を集客する「七尾港フィッシャー・マンスワープ能登食祭市場（石川県七尾市）」の構想立案・事業開発を皮切りに、全く起業経験の無いスタッフによる運営で開業初年度から全国の道の駅平均売上高のおよそ倍の売上を計上し、その後も順調に成績を上げ続けている「道の駅のと千里浜（石川県羽咋市）」、山間部の就業者の移住・定住向け宿泊施設と、交流起業拠点となる「しろにし（和歌山県有田川町）」の構想立案・事業開発に従事するなど、各地の産業振興等の政策立案、地域再生・地域経営ビジョンや計画策定と、その実現化にむけた各種の事業開発、町おこし・地域づくりなどの各種団体・組織の設立と運営などの地域再生事業に関わり、●地域ブランドの創造・開発、●道の駅などの観光・交流事業創造・開発、●農商工連携・特産品開発を始め、地域社会に根ざし、広く影響・効果を及ぼす事業開発に従事する一方、石川地域づくり協会専任コーディネータの経験を活かして全国の活動現場を支援している。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	(株)アスリック	http://www.neting.or.jp/usnc/	
	濱 博一 経歴書	http://www.neting.or.jp/usnc/staff/hama/keireki_hama.html	
	総務省 地域人材ネット(地域力創造アドバイザー)	https://www.soumu.go.jp/main_content/000601382.pdf	
	石川地域づくり協会・コーディネータ紹介		http://www.crsfishikawa.jp/shinkou/dokurikyoku/coordinate/c011.html
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県出身 金沢大学 工学部卒業 ◆1987年1月 株式会社計画情報研究所 設立 取締役就任 ◆1998年12月 同社取締役退任 ◆1997年4月 株式会社アスリック 設立 代表取締役就任 <p><現公的役職></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆総務省 地域力創造アドバイザー ◆石川県地域づくり協会 専任コーディネーター ◆ふじのくにしずおか観光振興アドバイザー(静岡県) ◆石川県市町村職員研修所 講師(高度政策立案推進能力開発講座) ◆石川県商工会連合会 経営・技術強化支援事業エキスパート(商業経営・情報化) <p><人材登録></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光庁 外部専門人材登録 <p>その他、各種委員会における委員・アドバイザー、行政職員向けの各種研修講師、地域づくり研修・セミナー講演等多数</p>		
3. 取組分野			
観光	()		
● 移住・定住・関係人口	(こと興しなど住民参画・参加型の移住・定住事業、ならびにそれらに伴う起業の支援)		
● 農林水産業	(農林水産品を素材とした商品開発や、ブランド化を通じた地域産業振興)		
● 起業支援	(道の駅など地域振興・観光振興事業をはじめ、移住・定住促進のため宿泊・交流施設などの社会的事業開発)		
まちなか再生	()		
集落再生	()		
環境	()		
その他	()		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2016年度～17年度 石川県 羽咋市 循環型産業システム構築事業(のと羽咋美味しい創生プロジェクト) ◆2020年度～21年度 和歌山県 有田川町 清水地域ランドスケープ再生戦略事業 ◆2021年度～ 大阪府 島本町「京となにわが出会う場所」島本町J1リノベーション大作戦事業 ◆2025年度 和歌山県 有田川町 外部専門家短期派遣事業 		

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名：循環型産業システム構築事業(のと羽咋美味しい創生プロジェクト 道の駅「のと千里浜」事業開発等業務)(ふるさと財団外部人材派遣事業)</p> <p>(2)対象地：石川県羽咋市</p> <p>(3)事業目的： 羽咋市として初の取組となる道の駅の事業開発・開業を円滑に進める。</p> <p>(4)事業内容： 道の駅「のと千里浜」構想立案・施設計画・特産品開発・事業開発・経営ノウハウの伝授など、事業開発をプロデュース。地元JAが推進する自然栽培農法からの農産物を商品構成の核に据える「自然栽培」をキーコンセプトにした道の駅事業を開発。</p> <p>(5)事業による成果： 開業直後12ヶ月で約3.6億円の売上を計上。その後も持続的に売上を伸ばしている。日経トレンディ2021年9月号「道の駅ランキング」において北陸地区第3位、「道の駅 最強ランキング(晋遊舎ムック、2024/5/21)」において北陸地区第2位に選ばれるなど、道の駅として新しい形態であるセレクトショップタイプとして着目されている。</p> <p>なお、本事業の前に、複数年度で「羽咋市農産物等商品・販路開拓計画策定業務」「羽咋市農産物等ブランド開発業務」に従事し、道の駅としての自社商品の開発、取り扱う商品を確保するための支援を実施している。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名：清水地域ランドスケープ再生戦略事業アドバイス業務(ふるさと財団外部人材派遣事業)</p> <p>(2)対象地：和歌山県有田川町</p> <p>(3)事業目的： 同町清水地区の地域再生。(具体的な検討課題として、しみず温泉のリニューアル・地元事業所従業員の宿泊機能の整備・児童公園の整備など)</p> <p>(4)事業内容： 具体的検討課題を分析し、「観光・交流・関係人口づくり」から縁結びの深化から移住へのターニングポイントと、意思決定の環境となる「住環境・職場環境」整備の関係性を提示。地域として大きな視点から課題を再構成。地域再生ビジョンとして整理。その上で、しみず温泉のリニューアルの基本計画の立案、住環境整備として城西小学校の廃校施設をリノベーションする基本計画・事業計画の立案と運営組織設立のための経営計画の検討・立案、清水地区の中心部の空き地に児童公園の基本構想立案のための住民ワークショップの企画・運営を支援。</p> <p>(5)事業による成果： 財団事業修了後、各課題が次の通り実現化されている。 しみず温泉の基本計画が建築設計に生かされ建築・開業。順調な利用客数で推移している。 旧城西小学校においても、基本計画が建築設計に生かされるとともに、地元人財を核に地元企業を会員とする運営母体「一般社団法人しろにし」が設立・運営され、会員企業の従業員寮としての運営、農繁期の人材確保や地域資源を活用した交流人口拡大事業が創出されている。 児童公園においても、ワークショップの成果に基づいた整備が行われた。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名：京となにわが会おう場所(まち)「島本町」リノベーション大作戦事業(ふるさと財団外部人材派遣事業)</p> <p>(2)対象地：大阪府島本町</p> <p>(3)事業目的： 離宮の水のリ・ブランド化による商業的なにぎわいづくりと島本町のブランド価値の向上、サントリ山崎蒸溜所からの観光客を町内へ周遊させるため、西国街道沿いの商業的なにぎわいの創出、加えて、水無瀬駅前も含めた町内全域での商業的なにぎわいを創出を図るためのマスタープランを再構築する。</p> <p>(4)事業内容： ①地域再生ビジョンの検討、②マーケティング・ターゲットの検討・設定、③リ・ブランドの検討、④ソフト的しかけの土壌づくり</p> <p>(5)事業による成果： 人財の発掘、その方々のスキル・知見・経験をコンテンツとする交流イベントの開発・実施、イベントの定着を見ながらお土産となる商品の開発という「ひと・こ・もの」の流れをエンジンとし、それを支援する政策誘導型起業支援、地域ブランディング、タウンプロモーションの6大事業で構成する地域再生ビジョンを、役場担当と議論を交わしながら検討・策定。地域再生を図るために必要な考え方を共有。地域ブランディングの検討に際しては、STPマーケティング手法をベースに、ターゲットではイノベータ理論をベースに検討・構築し、持続的に取り組めるようテキスト化を図った。翌年、これら6大プロジェクトに着手。発掘された人財を取材・広報誌連載するとともに、新規の交流イベント4種を開発・実施(継続中)。人財の中から新商品開発への取組を実現。一連の実行主体として地元民間団体SMALLとコラボし、ノウハウを移転。 財団事業後、着手したばかりの各種プロジェクトを確実に推進・自走させるために、別事業「まちの魅力の創造・発信事業」として継続的に助言・伴走し、着実な成果を上げ続ける体制づくりを支援している(現在も進行中)。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名：地域活性化委員会事業</p> <p>(2)対象地：富山県富山市八尾山田地区(富山市八尾山田商工会)</p> <p>(3)事業目的： 持続的な地域経済の活性化に資する対象地区の地域再生ビジョンを検討・策定し、翌年度以降、具体的な事業に結実させることを目指す。</p> <p>(4)事業内容： 商工会活性化委員会委員とともに議論し、持続的な地域経済の活性化に資する対象地区の地域再生ビジョンを策定する。</p> <p>(5)事業による成果： ①地域再生ビジョンの策定 ②町家再生など地元民間での諸活動の役割分担のための基本的方向性の設定 ③活性化委員会へのノウハウ移転 ④地域資源を活用した交流イベントの開発リストの作成(次年度以降、順次トライアルに着手予定) ⑤次年度、国・県の「2地域居住」事業への指定申請中</p> <p>なお、前年度までに委員らによるワークショップを企画・運営。地域資源を掘り起こし、地区特性の再確認・再認識工程を経ている。</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <p><単年度分></p> <p>◆袖ヶ江地区地域再生ランドデザイン策定事業(石川県七尾市袖ヶ江地区地域づくり協議会)</p> <p><複数年度継続分></p> <p>◆職員研修(政策立案＋行政コミュニケーション)：石川県人事課 ◆地域づくり研修・セミナー・講演：石川地域づくり協会 他</p>	